



岐阜市青少年育成

市民会議だより

令和6年度号

発行日 令和7年3月1日
発行者 岐阜市青少年育成市民会議
社会・青少年教育課
岐阜市司町40番地1
TEL 058-214-2264

第51回岐阜市「家庭の日」推進大会開催

毎月第3日曜日は「家庭の日」

家族の絆を深めましょう！

岐阜県は、昭和42年に「岐阜県家庭の日」を定める条例を設置し、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めている。

<テーマ>

『心豊かな明るい家庭づくり』
～親子のコミュニケーションを考える～

1月26日(日)、岐阜中央中学校第2体育館において、岐阜市「家庭の日」推進大会が市民会議第3ブロックの企画運営で開催された。会長である市長や共催者の教育長をはじめ、各地域から保護者の方にも参加いただき、およそ300名を超える出席があった。

社会環境が急激に変化する中で家庭は、ふれあいと安らぎの場であるとともに、青少年の人格が形成される基盤であり、人との関係のあり方や社会のルールを学ぶ場であることを家庭や家族・地域が再認識し、「心豊かで明るい家庭づくり」が進められることを確認しあった。

開会にあたって市長からは、イギリスの精神科医ボウルビィが確立した“愛着理論”について、自身の幼稚園での読み聞かせ活動を例に、赤ちゃんと保護者との愛着（慣れ親しんだ物事に深く心を引かれ、離れがたく感じること）の重要性について話があった。

第3ブロック市民会議からは、家庭にかかわるアンケート結果から、次のことを大切にしていくことについて発表があった。

【子どもの話を聞く姿勢】

- ◎目線を合わせる
- ◎子どもの気持ちを理解しようとする
- ◎子どもの意見を尊重する
- ◎求められてもいないのにアドバイスしない
- ◎子どもをけなさない

【認めることで育つ感覚】

- 【自己肯定感】：私は私で大丈夫と思える感覚
- 【自己効力感】：私にはできると思える感覚
- 【自己有用感】：私は必要とされていると思える感覚

発表を受け、5つのブロック混合でグループを編成し、市議会文教委員長、市PTA連合会長、市小中学校長会長も交えて活発な意見交換が行われた。

その後、全体交流を通して、第3ブロックからは、親子のコミュニケーションを深めていくことや人とのつながりをはぐくむ関係団体における地域活動の大切さについて提言があった。



<グループ会を参観する会長>

大会を総括して教育長からは、「地域はどう声をかけるのか」について、作家井上ひさし氏の「ふふふ」の中で、万引きが見つかった時の書店のおばあさんの対応を例に、個を尊重しつつ「育てる」という視野での対応を考えていきたいと話があった。

最後に、大会宣言が全会一致で承認され、大会は閉会した。

「岐阜市少年の主張大会2024」の開催

16回目となる今大会は、6月22日(土)、ぎふメディアアコスモス「みんなのホール」において、市内の国公立中学校23校、私立中学校1校から24名が参加し、社会や世界に向けた意見のほか、家庭や学校、地域などとの関わり、報道されている様々な出来事などに対する思いや考えをそれぞれが鋭い感性とオリジナリティのある内容で熱く主張した。

最優秀賞には、「9.2%の人にも幸せな社会を」と題して、だれもが幸せに生きられる社会の実現について、「相手の立場に立つことの大切さと共に、障がいは個性ととらえるべき」と主張した岐阜中央中学校3年の鬼頭さやかさんが受賞した。



<最優秀賞の鬼頭さん>

<優秀賞と優良賞は次の皆さん> (敬称略)

【優秀賞】

川本 真悠子(陽南) ・山本 灯(岐阜西)
佐々木 羽陽(東長良)・細野 惺央(梅林)

【優良賞】

野口 真秀(聖マリア)・小寺 莉央(加納)
※県大会は、鬼頭さんと細野さんが出場し優秀賞受賞

第3日曜日は「家庭の日」

決めて、守ろう！「我が家のルール」

第1ブロック

鷺山 市民会議

子どもの笑顔があふれる「三世代交流秋の祭典」

11月30日（土）地域と学校が一緒になって「三世代交流秋の祭典」を開催した。

当日は、子ども会育成会や体育振興会、まちづくり協議会、市民会議が様々なゲームや体験活動を担当し、公民館や老人会、鷺山小学校PTAや中高生のボランティア等が運営に加わり、まさに地域を挙げて子どもたちとの交流を楽しんだ。



子どもたちからは笑顔があふれ、様々な世代の地域住民との交流を楽しむ姿が見られた。また、参加者からは、子どもと共に楽しく活動できた喜びの声をたくさん聞くことができた。

こうした活動を通して、子どもたちがますます地域を好きになり、様々な活動に積極的に参加する姿をめざしていきたい。

常磐 市民会議

「二十歳のつどい」地域でお祝い

1月12日（日）に実施した「二十歳のつどい」では、オープニングに富田学園吹奏楽部30名の演奏で花を添えた。また、式典会場の後方には、6～7mのバルーンアートで会場を盛り上げた。

常磐自治会連合会の主催だが、企画運営は常磐青少年育成市民会議が実行委員として、数か月前より役員が集まり一丸と



なって考えたものである。式典に参加した二十歳の53名は、一緒に歌ったり手拍子をしたりして楽しんでいた。お世話になった先生方や地域の方々のお祝いを受けた後、バルーンアートをバックに、久しぶりの再会を記念写真に収めていた。常磐の若者たちが、この心温まる「二十歳のつどい」を機に、地元を振り返り、常磐地域出身者として活躍して欲しいと願う。

第2ブロック

島 市民会議

親子で汗した「落ち葉清掃」

令和6年12月1日（日）、島子ども会育成会とその家族、中学生ボランティア、島小・中学校教員、青少年関係者など159名（中学生20名・大人74名・子ども65名）が集まり、島南公園で落ち葉の清掃を行なった。

この時期、島南公園の立木からは大量の落ち葉が降り積もるため毎年実施している。1時間という短い時間だったが、参加者一人一人が広い公園内を手際よく清掃活動を行い、ごみ袋200袋以上が落ち葉でいっぱいになった。



親子で仲良く掃除をする姿はとても微笑ましく、ゴミ袋がはち切れんばかりに詰め込んである落ち葉が、その頑張りの証だと思えた。

則武 市民会議

学校と地域の連携を大切に



6月と11月に計10日間市民会議役員が中心になって、岐阜清流中学校、則武小学校の校門付近や通学路で、子ども達に「おはよう、気を付けて」と声をかけている。多くの子ども達は会

釈したり、笑顔を見せて挨拶を返したりしてくれる。その反応を見て、「今日も則武の子ども達は元気だ！」とほっとする。

則武小学校体育館で毎年11月に市民会議主催「みんなでトライ『豆つかみゲーム』」を行っている。大豆を箸でつかみ、30秒で何個の大豆を移動できるかを競うゲームである。今年は、幼児から高齢者まで150人ほどの参加があった。どの参加者も集中しながらも、楽しそうな声が聞こえてきた。参加者が心底楽しむ姿を見て、主催した私たちも「やって良かった。」と嬉しくなった。



第3ブロック

京町 市民会議

「暑い!」「暑かった!」夏祭り・盆踊り大会

連日35℃を超える猛暑の中、8月3日(土)には「京町夏祭り・盆踊り大会」をメディアコスモスみんなの広場でまちづくり協議会など共同で開催した。市民会議役員は、21名の中学生ボランティアと一緒に、子ども遊びコーナーを担当した。輪投げやポンポンすくい等、子どもたちの笑い声と歓声があちこちで聞こえていた。

また、市民会議メンバーが自ら先頭に立って盆踊りをリードしたり、飲み物コーナーで忙しく働く様子があったりした。

人と人がふれあうことのすばらしさを体感する催しとなった。これからも地道ではあるが、継続していきたいと思った。



第4ブロック

鶯 市民会議

親子しめ縄づくり

市民会議主催で毎年恒例の「親子しめ縄づくり」を、12月12日(木)に、小学5年生と保護者等の約250人が参加して開催した。

1メートル以上ある藁を縄に編み上げる最初の工程で子どもたちは、保護者と一緒に苦戦していたが、スタッフの丁寧な説明と見本を手がかりに、集中して取り組みながら仕上げていった。作業後半になると、徐々に子どもたちから多くの笑顔も見られた。

スタッフの準備から当日までの苦労も、子どもたちの「よい新年になりそう。」「どこに飾ろうかな。」などと嬉しそうに話す様子から、この行事ができてよかったと実感させられた。



早田 市民会議

地域ぐるみの青少年健全育成を目指し

早田青少年育成市民会議は、3つの部会を中心に活動している。

① 家庭部会は、「親子ふれあい教室」を開催し、孤独な子育てに、「他のママと知り合える貴重な機会を与えていただき視野が広がった」等の感謝の言葉が届いた。

② 青少年育成部会は、「金華山登山道サポート事業」を行っている。中学卒業後も引き続き活動している青年もいる。また、20年前から始まった伝統文化「子ども茶道教室」は、健全な青少年育成には必要な事業だと考えている。

③ 社会環境部会は、毎年、地域の危険な道等を調査し、その改善に取り組んでいる。さらに行政に報告して道路白線等の修繕を依頼する一方、地域の安全を願い青色回転灯パトロールによる積極的な啓発活動を行っている。

現在様々な課題はあるが役員・委員の努力により円滑に機能し活性化している。



厚見 市民会議

三世代交流の喜び

12月7日(土)に三世代交流事業・夢づくりふれあい事業をまちづくり協議会との共催で開催した。小学校1年生から3年生は「花餅づくり」を行い、梅の枝に紅白の餅で飾り付けし、皆さんが素敵な作品を制作して持ち帰った。4年生から6年生は「グラウンド・ゴルフ」を行い、約30m先のホールポストに2打以内で入れることを競い合った。普段使うことのないクラブを握り、ボールが思わぬ方向へ飛んだり、勢いよく転がったりと悪戦苦闘する場面もあったが、73名に賞品を授与した。

また、午後からは厚見学園PTCA主催の「ハートフルフェスタ」にスライム作りコーナーを出展した。洗濯糊とホウ砂で作られ、1時間でカラフルな透明色のスライムができ、大変喜んでもらった。当日は500人近くの子供たちが参加し、素敵な体験の場となった。



第5ブロック

4BL特色ある活動

【ブロックコーナー】

岩 市民会議

夢の種まき

11月16日(土)に「夢づくりふれあいフェスティバル」を盛会のうちに終えることができた。「学校と地域の夢づくりふれあい事業」として今年で28回となった。小・中学校、各種団体にも一緒に参画いただき、岩地域の中では「市民運動会」に次ぐ大きなイベントになってきている。

「わくわく体験広場」では、1年生 バルーンアート・本となかよし、2年生 わくわくオリジナル缶バッジ、NEWスポーツ、3年生「よさこい」に挑戦、ストラックアウト、4年生 講談入門、ティーバッティング、5年生 おもしろ科学教室、マジック入門、6年生 きみも考古学者、茶道入門を行った。

「ふれあい感動広場」では、朝日大学吹奏楽部の演奏を地域の皆さんも一緒に聞いていただいた。昨年、大学生になった岩小卒業生が講師の一人として参加し、長年続けてきた重みを感じた。



国際交流会～アンクルンで心ひとつに～

第4ブロックでは毎年、外国人との交流を通して、異なる文化を知り、自分たちの国や地域のよさを見つめることで、互いに尊重し合い、理解し合って生きることのすばらしさを知ることがを目的として、中高生を対象に国際交流会を開催している。

今年度は、岐阜大学の協力を得て、インドネシア教育大学で伝統楽器「アンクルン」を指導されているアルディアン先生をはじめ3名の方を講師として交流を深めた。



アンクルンは、1楽器1音でそれぞれに音階がついている。指導者のハンドサインで、自分が担当するアンクルンを揺らしながら打ち鳴らし、1曲を完成させる楽器である。1曲ごとに会場からは拍手と歓声があがっていた。参加した高校生からは、「初めて触る楽器だったけど、みんなで演奏することで楽しい時間になった。」という感想があった。

長森南 市民会議

これからの市民会議の役割は？

市民会議主催の第42回「子どもフェスティバル」を6月に開催した。PTAや地域の各種団体、中学生を含めて800人以上の参加者があった。

小学生は、煙道体験やもの作り等、11の体験コーナーと7つの遊びコーナーを自由に回って楽しみ、どこも子どもたちであふれていた。フェスティバル終了後、中学生ボランティアに対して、会長から青年ボランティア人材バンク(コネクト)の紹介をし、卒業後の参加協力をお願いした。



しかし、長年秋に開催していた学校と地域を結ぶ大切な行事である「文化フェスティバル」が廃止になった。社会全体で働き方改革の意識が高まっている中、PTA活動や子ども会活動も縮小されてきている。そうした中、市民会議の役割はより大きくなっていくのではないかと思うところである。

青年ボランティア 人材バンク CONNECT

登録者募集



[Community]

地域社会が受け皿となり

[Human]

人と人がつながり

[Future]

未来を築いていこう

コロナ禍を経て、人と人とのつながり方は多様化し、顔を合わせたつながりが希薄化してきている。また、SNSによる犯罪、DV、ニート、引きこもり、ヤングケアラーなど、青少年を取り巻く問題は益々深刻化し増加している。そんな中、地域の青少年は今後の社会にとって、様々な場面で益々重要な存在となっていくものと思われる。

そこで、若者が多くの人と顔見知りになり、安心して笑顔でいられる居場所をつくることを願って立ち上げた。「できるときに」「できそうなことを」「自分で決めて参加」できるボランティア活動の場を提供したいので、ぜひ、多くの若者に声をかけたり、事業を提供したりしてもらいたい。



2次元コードから趣旨説明や登録が可能

青少年 育てよう 心とからだと思いやり